

2025 年 5 月 16 日

一般社団法人日本能率協会
国立大学法人九州工業大学
株式会社 Kyutech ARISE

報道関係者各位

日本能率協会、九州工業大学、Kyutech ARISE による共同開発

九州発「DX 推進力アセスメント」完成

～三者で共同記者発表会を開催 不足する DX 推進人材育成を促進へ～

一般社団法人日本能率協会（東京都港区芝公園、会長：中村正己、以下：JMA）と国立大学法人九州工業大学（福岡県北九州市、学長：三谷康範、以下：九工大）、株式会社 Kyutech ARISE（福岡県飯塚市、社長：嶺正二郎、以下：Kyutech ARISE）は、DX 推進力の定性的評価を測る「DX 推進力アセスメント」を開発いたしました。2025 年 5 月 15 日（木）、福岡市内で三者共同の完成記者発表会を開催し、開発の経緯や本アセスメントの特長を伝えるとともに、「2025 年の崖」といわれる、DX 推進の取り組み不足による経済損失の危機に対して、九州発の新ツールで挑んでいく考えを示しました。「DX 推進力アセスメント」は 2025 年内から提供を開始する予定です。



▲当日の記者発表会の様子

■ DX 推進力アセスメントの特長

DX 推進力アセスメントは、人材育成・組織変革の分野で 80 年以上の実績を持つ JMA、DX に関する高度な学術知見と豊富な教育カリキュラムを保有する九工大・Kyutech ARISE の三者による「産学連携に関わる包括協力協定」に基いて、2024 年 8 月から開発を本格的にスタートした“学術と実務を融合した実践的なアセスメント”となります。

受検者自身が DX 推進担当者になった仮定で計 6 つの設問に記述式で回答し、「DX による業務改善構想」「ユーザー視点の DX 技術活用」などの 6 つの次元（ディメンション）で多面的に評価します。記述式で回答することで、受検した【個人】と【組織】双方の強み・弱み、今後の成長のためのヒントを明確にすることができます。

また、診断結果に紐づいた JMA および Kyutech ARISE による研修やコンサルティングサポートを活用することで、実課題に即した、より効果の高い個人および組織全体の知識・スキル強化が実現できます。

【概 要】

設 問 数：6 問

想定する回答時間：60～90 分程度

設 問 形 式：記述式回答法 ※経済産業省の「デジタルスキル標準」にも準拠

【特 長】

- 企業変革を支援してきた JMA 独自のノウハウと、最新のテクノロジーやビジネス環境を反映した設計。
- 「DX による業務改善構想」「ユーザー視点の DX 技術活用」など 6 つの次元（ディメンション）で多面的に評価。
- 診断結果を基にして JMA、Kyutech ARISE の研修を活用することでの個人、組織全体の知識・スキルを強化。
- JMA、Kyutech ARISE による、DX・デジタル推進のコンサルティングサポートを受けることも可能。
- アセスメントの開発に於いては、脳科学者の茂木健一郎氏にもご助言をいただいている。

■三者代表者のコメント

富浦 渉（一般社団法人日本能率協会 事業推進本部長）

JMA では、産業界の DX 化への取り組みが加速している一方で、デジタルスキルを有する人材の不足が経営課題となっている現状を受けて、リスキリングを中心とした DX 推進人材の支援に注力しております。今後も経済成長率の上昇が見込まれる九州エリアでの支援拡充は、地域経済の持続的な発展促進と地域社会の活力・魅力向上の足がかりとして、必要不可欠と考えます。本アセスメントを起点とした「診断・分析」と「教育・研修」が連動した DX 人材育成システムを確立し、さらなる産業界の経営革新と発展を先導・支援してまいります。



安永 卓生（国立大学法人九州工業大学 副学長）

九工大は、JMA・Kyutech ARISE と共同で、DX 成熟度を測定する新アセスメントを開発しました。DX は単なる IT・情報システムの導入ではなく、ビジョンから逆算して課題を特定し、デジタル技術で事業と顧客価値を革新する継続的プロセスです。本評価は、個人・組織・企業の現在地を可視化し、DX マインドとコミュニケーション力を含む人材育成へ迅速なフィードバックを提供します。九州エリアを起点とした、地域経済・雇用創出・競争力強化への貢献を期待しています。



嶺 正二郎（株式会社 Kyutech ARISE 代表取締役社長）

Kyutech ARISE として、経営者や管理職が DX に取り組む際のレベル評価や認定制度を促進させることで、九州エリアの人材の質の向上と、企業の人材マネジメント強化を促進したいと考えています。本アセスメントを活用し、客観的な評価基準を策定することで、組織の DX 推進力が一段と高まると確信しています。意欲ある経営者・経営層やビジネスパーソンが学び合い、協創を促す場の提供を支援し、新たなビジネスや技術革新に繋がることも期待しています。



■茂木健一郎氏（脳科学者）からのコメント



近年、人工知能の発展は目覚ましく、DX に積極的に取り組むことで、業務上の計算を自動化し、人間がより本質的で創造的な仕事に注力できる環境が整ってきています。DX が、人間力を伸ばすための必要条件、そして課題になっているのです。このような時代に、会社全体として、また職場環境における DX の取り組みの現状を診断することは、自分たちの良さを活かすために重要な「メタ認知」を提供します。人間の脳の可能性が一気に展開する新しい時代に備えて、ぜひ DX 推進力のアセスメントを実施していただけたらと思います。

<茂木健一郎氏（脳科学者）プロフィール>

1962 年東京生まれ。ソニーコンピュータサイエンス研究所上級研究員、東京大学大学院特任教授、屋久島おおぞら高校校長、(株) Kyutech ARISE 顧問。東京大学理学部物理学科、法学部卒業後、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻課程修了。理学博士。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現在に至る。専門は脳科学、認知科学。「クオリア（感覚の持つ質感）」をキーワードとして脳と心の関係を研究、近年「人間の脳と AI のアラインメント」についての研究に注力中。

■協会概要

名 称	一般社団法人 日本能率協会 ※略称：JMA (ジェイエムエー)
目 的	本会は、マネジメントに関する調査及び研究、情報の収集及び提供、人材の育成及び指導等を行うことにより、企業、団体等の経営革新を図り、もって我が国経済の発展、国民生活の向上及び国際社会への貢献に寄与することを目的とする。
設 立	1942 年 (昭和 17 年) 3 月 30 日
会 員 数	1,309 社 (2024 年 6 月 10 日現在)
事 業 内 容	1. マネジメントに関する調査及び研究 2. マネジメントに関する情報の収集及び提供 3. マネジメントに関する人材の育成及び指導 4. マネジメントの高度化に寄与する表彰、資格認定及び普及啓発活動 5. マネジメント及びマネジメントに関連する技術及び産業振興に関する会議、展示会等の開催 6. 規格適合に拠るマネジメントシステム及び製品、サービスに係わる第三者認証及び登録業務サービスの提供 7. 地球温暖化防止にかかわる各種検証及び環境マネジメント支援業務サービスの提供 8. マネジメントに関する内外関係機関等との交流及び協力 9. その他本会の目的を達成するために必要な事業
事 業 所	東京 (本部、東京都港区芝公園 3 丁目 1 番 22 号) 大阪 (大阪府大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 17 号 大阪第一生命ビルディング 6 階) 名古屋 (愛知県名古屋市中村区名駅 1 丁目 1 番 4 号 JR セントラル Towers 36 階)

■大学概要

名 称	国立大学法人 九州工業大学
沿 革	1909 年(明治 42 年) 4 月 1 日 私立明治専門学校 開校 1949 年(昭和 24 年) 5 月 31 日 九州工業大学 設置 2004 年(平成 16 年) 4 月 1 日 国立大学法人 九州工業大学 設置
H P	https://www.kyutech.ac.jp/
概 要	1909 年私立明治専門学校の開学に始まり、「技術に堪能なる士君子」の養成を基本理念に数多くの技術者を輩出、現在は福岡県内の 3 キャンパス(2 学部 3 大学院)に約 5700 名の学生が学ぶ。 近年では宇宙開発(教育機関における人工衛星の運用数 8 年連続世界一位)、ロボティクス(自律型ロボットの世界大会 6 回優勝)など幅広い分野で成果を残し、2024 年度に文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)」に採択され、日本の研究力を牽引する国内 25 大学のひとつとして選出された。 2025 年度には「『未来を思考する「モノづくり」と「ひとづくり」』を推し進め、最先端の技術と人材で世界にインパクトを与えるイノベーション創出大学となる。』として「九州工業大学ビジョン 2040」を掲げている。
所 在 地	〔戸畑キャンパス〕 福岡県北九州市戸畑区仙水町 1-1 〔飯塚キャンパス〕 福岡県飯塚市川津 680-4 〔若松キャンパス〕 福岡県北九州市若松区ひびきの 2-4

■会社概要

名 称	株式会社 Kyutech ARISE (キューテック アライズ)
設 立	2024 年 4 月 1 日
H P	https://www.kyutech-arise.co.jp/
事 業 内 容	国立大学法人九州工業大学のもつ教育リソースを活用した卒業生やエンジニア等の社会人向けリカレント・リスキリング教育及び研修、就業支援事業等の生涯学習支援を行う人材育成プラットフォーム会社 (国立大学法人九州工業大学 100%出資)
所 在 地	福岡県飯塚市川津 6 8 0 - 4 九州工業大学 飯塚キャンパス内

【報道関係者のお問合せ先】

日本能率協会広報事務局 (共和ピー・アール内) 担当：中尾、古瀬
E-mail：jma-pr@kyowa-pr.co.jp TEL：03-6264-3831